

■運賃収支シミュレーション (100円・200円・300円)

千円以下、四捨五入

		現行	運賃を値上げした場合 の利用者減少率	
			20%減少	50%減少
支出	①運行経費	82,523,000円	82,523,000円	82,523,000円
	運賃	100円	200円	300円
収入	②年間利用者数	273,187人	218,550人	136,594人
	③年間運行収入	23,923,000円	38,277,000円	35,884,000円
④委託料 (①-③)		58,600,000円	44,246,000円	46,639,000円
利用者1人当りの行政負担額 (④委託料/②年間利用者数)		214円/人	202円/人	341円/人
利用者1人当りの運行経費 (①運行経費/②年間利用者数)		302円/人	377円/人	604円/人

年間運行収入＝利用者*約87.6% (H28実績)*運賃

※運賃200円とした場合に利用者数を20%減としたのは、他市における運賃値上げによる利用者数推移及び会議での発言による想定

※運賃300円とした場合に利用者数を50%減としたのは、実際にはあり得ない額及び会議での発言による想定

■別紙：今後10年後(2026年度)までのシミュレーション

■他市における運賃値上げによる利用者数推移 (改訂前年を1.00とした場合)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	改訂年次	改訂内容
八王子市		0.98	1.00	1.00	1.00	0.81	0.81	0.81	H23.1.27	100円⇒100～200円(大人)、50～100円(子供)
小平市	1.00	0.86	0.84	0.83	0.81	0.79	0.81	0.81	H19.5.25	100円⇒150円(大人)、80円(子供)
西東京市		0.93	0.95	0.94	0.10	0.96	1.00	0.89	H25.7.1	100円⇒150円(大人)、100円(子供)

※八王子市、小平市、西東京市ともに運賃値上げ年は前年と比較して、0.11～0.19ポイント減少。

■民間路線バスの運賃(市内)

	料金(円)	事業者	備考
東側	180～270	朝日自動車(株)	
	200	丸建自動車(株)	均一制
西側	100～200	川越観光自動車(株)	
	100～320	東武バスウエスト(株)	

■運賃制度の比較

	均一制	従量制	
		対距離制	ゾーン制
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 利用距離に関係なく、その路線内は均一の運賃となる 	<ul style="list-style-type: none"> バス停間の距離によって運賃を加算する 	<ul style="list-style-type: none"> 路線ゾーンを設定し、同一のゾーン内は均一運賃とする
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 運賃の計算が不要であり、利用者への負担も少ない 運転手の運賃収受の負担が軽い 整理券発行器や運賃表示器が不要 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者による公平性が保たれる 民間路線バスとの公平性が保たれる 最も採算性を考慮した運賃設定が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 利用距離による不公平性が軽減される 均一制に比べ、採算性を考慮した運賃設定が可能
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 利用距離による公平性が欠ける 路線バスの運賃との整合性がとれない 距離が長くなると、採算性が悪くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 運賃設定が細かく利用者への不便が生じる恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> 運賃がわかりにくい場合があり、利用者への不便が生じる恐れがある ゾーン境界付近での乗車時には短距離でも運賃が上がるため、不公平感が生じる
県内導入自治体(市)	熊谷市・川口市・行田市 ・加須市・本庄市・東松山市・羽生市・鴻巣市・深谷市・上尾市・桶川市・蕨市・戸田市・朝霞市・和光市・新座市・久喜市・富士見市・坂戸市・鶴ヶ島市・ふじみ野市	さいたま市・川越市・所沢市・春日部市・狭山市・草加市・入間市・八潮市 ※全ての自治体がIC利用可	秩父市

■県内コミュニティバス導入(市)の運賃等状況 (高齢者割引等特別料金除く)

	導入自治体(市)数	備考
従量制	8	○設定料金 180円～260円:さいたま市 180円～360円:川越市 100円～260円:所沢市 150円～300円:春日部市 100円～300円:狭山市、草加市 180円～320円:入間市 180円～360円:八潮市
均一制	21	○設定料金 100円:9市(熊谷市、川口市、加須市、東松山市、上尾市、蕨市、戸田市、久喜市、桶川市) 150円:5市(鴻巣市、朝霞市、和光市、新座市、行田市※) 170円:1市(富士見市) 200円:6市(本庄市、羽生市、深谷市、坂戸市、鶴ヶ島市、ふじみ野市)

※行田市については、路線によって100円、150円の均一制をとっている。

■現在実施している無料乗継サービス

現在、市内循環バス「べにばなGO」では、**無料乗継サービス**を実施
駅で別の路線に乗車する場合に、**無料乗継（1回まで）**が可能

例) 例：東から駅で乗継、西へ向かう場合

